



協議会 会議結果報告

第151回会議

令和2年10月26日 18:30-19:35

① 令和2年度の港まち活性化補助金の一部変更

変更の経緯や内容、今後の見通し等について確認された上で、審議の結果、案の通り承認されました。また、今後の進め方については運営会に一任されることが確認されました。

② AEDの購入

事業案の概要や今後の見通し等について確認された上で、審議の結果、案の通り承認されました。また、今後の進め方については運営会に一任されることが確認されました。

③ 定期市の開催

事業案の概要や昨年度の実績、今後の見通し等について確認された上で、審議の結果、案の通り承認されました。また、今後の進め方については運営会に一任されることが確認されました。

④ 拠点活用事業（2階）の展示企画

事業案の概要や今後の見通し等について確認された上で、審議の結果、案の通り承認されました。また、今後の進め方については運営会に一任されることが確認されました。

⑤ 防潮壁プロジェクトの報告

事業実績や昨年度までの実績、今後の見通し等について確認されました。

⑥ 定期市の開催（進捗報告）

⑦ ポットラックバザール（進捗報告）

⑧ 江川線樹木再生未来予想図作成ワークショップ（進捗報告）

事業内容や今後の見通し等について確認されました。

⑨ その他

前川委員より、クルーズ名古屋の関連企画「クルーズ名古屋でアッセンブリッジ・ナゴヤ2020へ行こう!」、「舟の祭典 堀川クルーズ」が開催される旨が報告されました。

港まちづくり協議会では、ポートピア名古屋設置に伴い競艇を施行する自治体（蒲郡市など）から名古屋市に交付される「環境整備協力費」を財源とする「港まち活性化事業補助金」を用いたまちづくり事業を、住民と行政との協働により検討・実施しています。協議会の委員は、西築地学区連絡協議会・築地口商店街振興組合からの推薦をいただいた方々と名古屋市の職員で構成されています。

港まちづくり協議会の会議は誰でも傍聴できます。傍聴のルール、会議の開催日や会場など詳しくは下記の協議会事務局までお問い合わせください。また、会議資料は事務局に設置し、どなたでも閲覧できるようにしています。

お問い合わせ先

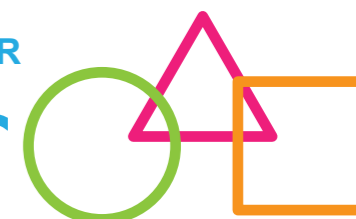
港まちづくり協議会
JOINT COMMITTEE OF PORT TOWN

受付時間 | 平日9:00-18:00
〒455-0037 名古屋市港区名港1-19-23
Minatomachi POTLUCK BUILDING
TEL | 052-654-8911 E-mail | info@minnatomachi.jp
FAX | 052-654-8912 HP | http://www.minnatomachi.jp ▶



港まちづくり協議会ニュース

JOINT COMMITTEE OF PORT TOWN NEWS LETTER



第162号 | 令和3年1月10日発行

港まちづくり協議会は、「なごやのみ(ん) なんとまち」の実現を目指し、○「心地よく安心な港まちで『暮らす』」
△「魅力的でにぎやかな港まちに『集う』」□「みんなと港まちを『創る』」の3つをテーマにしたまちづくり活動を実践しています。

告知

□創る

ポットラック新聞11号が完成！

特集「まちの音」

ポットラック新聞タブロイド 11号が完成しました。今回のテーマは「まちの音」。

巻頭インタビューでは、2020年にこのまちに滞在しまちの日常やおなじみの店のことなどを歌った「港まちの歌」を多数制作したアーティスト・テライショウタさんにお話をうかがいました。

また、関連企画として、ポットラック新聞かわら版ライターのみなさんが港まちを歩いて見つけた「まちの音」を集めて「港まちの音の地図」を作りました。

日々、まちに生まれ響く音の数々。そんな音に耳をすませることで、見えてくるこのまちの姿があるのかもしれない。



紙面が一部リニューアル！新コーナーが誕生

- ・「みニヤとまちブルース」
—— 港まち発 4コママンガ！
- ・「かわら版的 港のお店紹介」
—— かわら版ライターの視点でお店を紹介。
- ・まちかど相談室
—— ふとした悩みにまちの人が答えます。

- 発行ペース 年3回
- 規格 タブロイド判 8頁
- 発行部数 12,000部
- 配布先 名古屋市の観光案内所や図書館、全国のまちづくり団体など

どうぞお楽しみに

展覧会が1月14日(土)からスタートします！

2F 「まちを残す」展の続編を開催します。

5年で一括りと考えてきた「み(ん)なとまちのアーカイブプロジェクト」ですが、その総括で見えてきたことは、継続することの大切さでした。本展では、今後のプロジェクトを探究しながら、「まちを残す」という行為のさまざまなアレンジをご紹介します。地道にコツコツ、でも時にクスッとしてしまうような可笑しみも楽しんでいただければ幸いです。また、同会場の奥では、提案公募型事業の「港まち手芸部」が成果物の展示や映像上映を行います。合わせてお楽しみください。



▲6月に開催した「まちを残す」展

■ 展覧会名 「まちを残す | people talk about what they do のetc.」

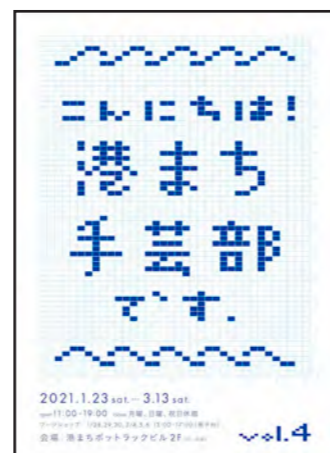
■ 日時 1月23日(土)～3月13日(土) 11:00～19:00

■ 場所 港まちポットラックビル2F ■ 入場 無料

■ 同時開催 「こんにちは！港まち手芸部です。vol.4」

■ 企画運営 港まち手芸部

▼ 昨年の展覧会の様子 ▼



3F 港まちで再会する映像プロジェクト

「アッセンブリッジ・ナゴヤ 2020」で上映した「港まちで再会する映像プロジェクト」の映像作品を好評につきアンコール上映致します。アーティストたちが、「港まち」のさまざまなロケーションを舞台に、音楽を奏で、港の風景と出会う様子を映像に記録しています。普段見慣れた港まちの新たな魅力や情景が浮かび上がる映像をお楽しみください。

▶ 映像作品の一場面 ▶



■ 展覧会名 MAT Screening vol.3 「港まちで再会する映像プロジェクト」

■ 日時 1月14日(木)～2月6日(土) 11:00～19:00

■ 場所 港まちポットラックビル3F ■ 入場 無料

■ 企画 MAT, Nagoya ■ 協力 アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会

今年も「みなと A GO GO！」始まります。

クリエイターの目を通して知る 普段の街の違ったおもしろさ

2021年も港まちづくり協議会に関わってくれたクリエイターの皆さまと街を巡るミニツアー「みなとA GO GO！（：みなとアゴゴゴ！）」を開催します。また今年はコロナ対策として、参加者数を絞り、WEB上での動画配信も行います。コロナ対策を徹底した上でリアルの場も、オンラインでの場もどちらも大事にしていきたいと思えます。

■ 期間 2月中旬～3月下旬まで

■ 企画 5企画を予定（詳細は別途チラシをポスティングいたします。）

▶ 昨年の様子 ▶

(上)「イラストレーター遠山 敦」とみなとZINEづくり
(下)「フォトグラファー三浦知也」とサタデーモーニング



新しいまちの風景を感じた一日

港まちブロックパーティー meetsポットラックバザール

セラーズマーケットと同時開催で新しい賑わいの場

12月12日は築地口商店街、アッセンブリッジ・ナゴヤと一緒に、3団体の連携事業としてコロナ対策を徹底した上でイベントを開催しました。食べ物、雑貨などを駐車場や空き店舗など、まちの空きスペースを使ったマーケット。公設前のステージやDJイベントといった音楽ステージも大変好評でした。また昼・夕方と2度の盆踊りでは、夏のお祭りが実施できなかったこともあり寒い中にも関わらず楽しそうに踊られる皆さんの様子が非常に印象的でした。またみんなで踊りたいですね。

■ 日時 12月12日(土) 11:00～17:10
■ 来場者 988名程度

▼ 当日の様子 写真 | 三浦知也

